

Eat Well, Live Well.

A photograph of three hikers standing on a rocky mountain peak, silhouetted against a bright, hazy sky. They are wearing backpacks and raising their arms in a gesture of triumph.

味の素株式会社 事業説明会
オープニングリマークス
～中期ASV経営における成長戦略～

取締役 代表執行役社長 最高経営責任者

藤江 太郎

2023年6月13日

本日の事業説明会でお伝えしたいこと

- ・「中期ASV経営 2030ロードマップ」発表後、志を共にする従業員・パートナーへの浸透にも力を入れ、ASV指標達成に向けて全社一丸となって進めている。
- ・独自のアミノサイエンス[®]の強みを活かした4つの成長領域における事業モデル変革（BMX）により、成長をドライブする。既存事業の成長ポテンシャルを更に加速させ、また既存事業とBMXの融合による新たな価値創造で飛躍的成長を目指す。
- ・ヘルスケア領域においては、基盤事業において顧客との共創の拡大と資産効率の最大化を通じて成長を実現するとともに、重点戦略事業に経営資源を集中投下し、先端イノベーションとモダリティーを先取りしながら進化を続ける。
- ・ICT領域においては、バリューチェーンのネットワークを活かして成長分野への進化と用途拡大を実現するとともに、高速開発をさらに進化させ、次世代の新分野や新材料の展開を進める。

アミノ酸のはたらきで食と健康の課題解決



アミノサイエンス®で

人・社会・地球のWell-beingに貢献する

50%
環境負荷を削減

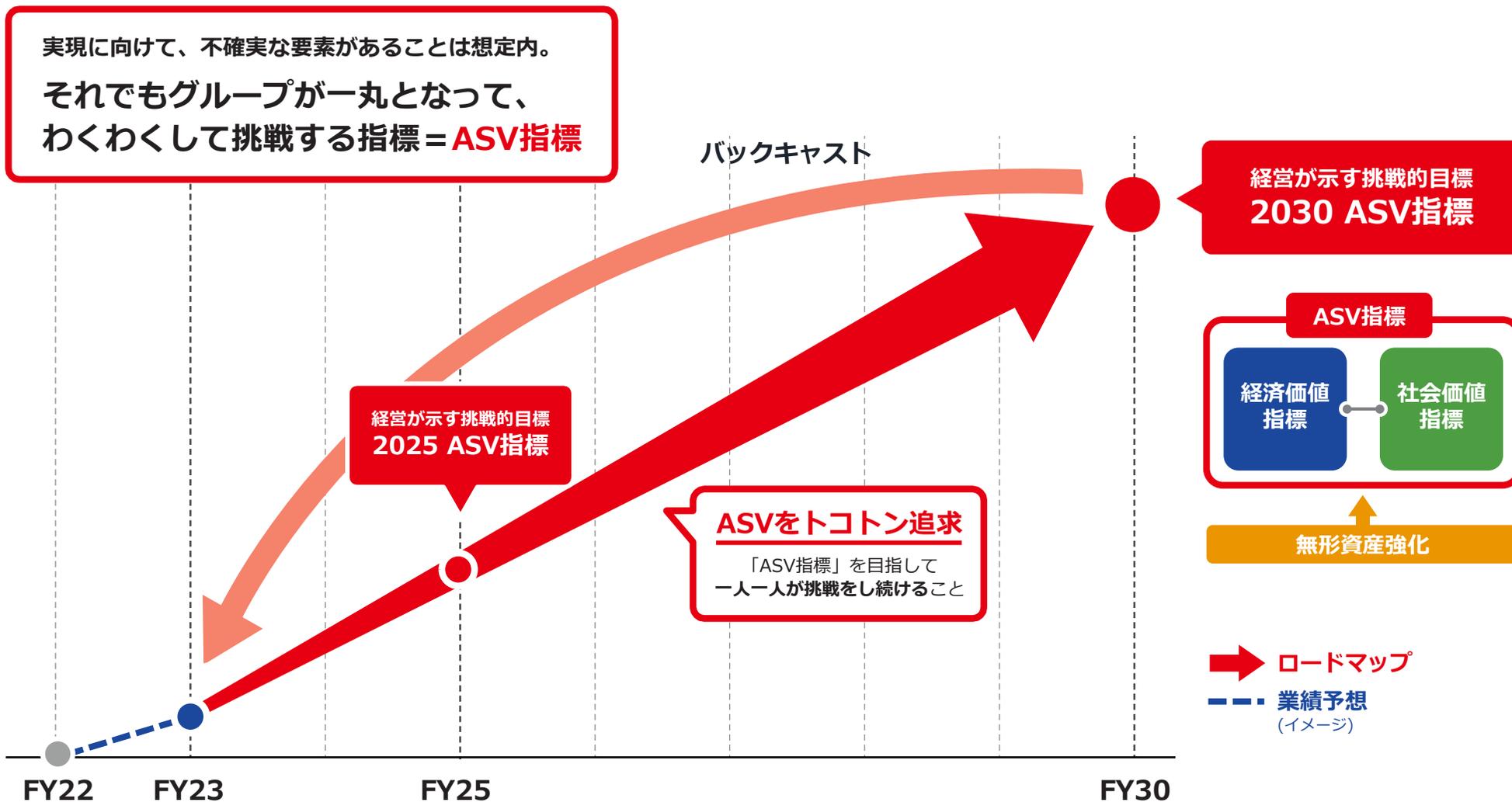
&

10億人
の健康寿命を延伸



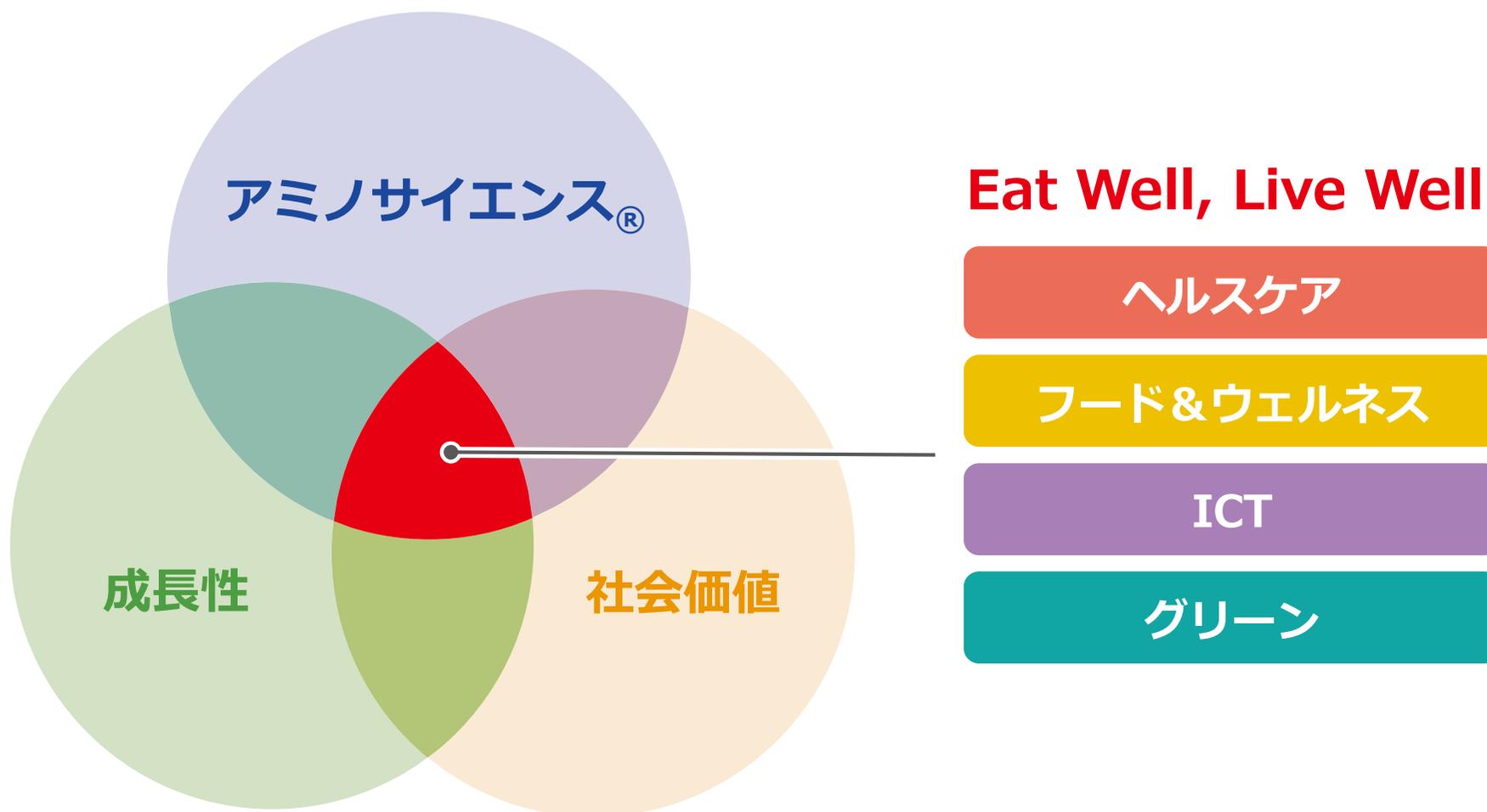
「中期ASV経営」へのマネジメント変革

コミットメントとしての業績予想を追いながらも、新たな価値や事業モデル変革を追求し続け、「ASV指標」への挑戦をし続け実行力を磨き向上させる「中期ASV経営」を推進する



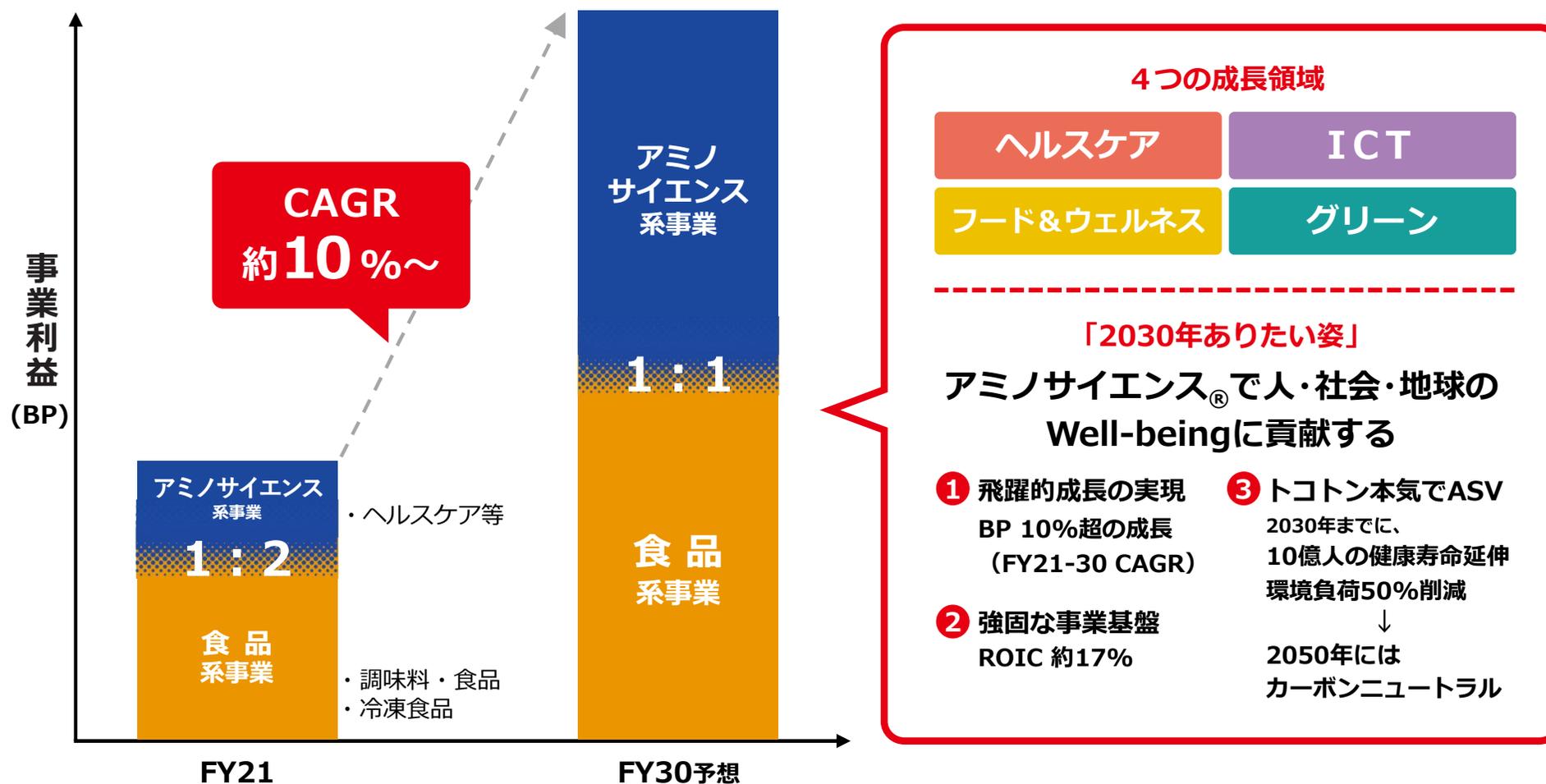
味の素グループの成長戦略 | 基本方針

味の素グループ独自のアミノサイエンス®の強みを活かし、市場の成長性が高く、社会価値の高い領域に絞ることを基本方針とし、4つの成長領域で飛躍的成長を目指す



構造改革から成長へのシフト

重点事業の進化と成長をドライブする事業モデル変革（BMX）により、提供価値起点の4つの成長領域での成長へとシフトすることで、高収益かつユニークで強固な構造を目指す



Eat Well, Live Well.

The logo for Ajinomoto, featuring a stylized red 'Aji' in a cursive font.

AJINOMOTO®

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。
- 本資料の金額は、切り捨てで表示しております。
- アミノサイエンス®は味の素株式会社の登録商標です。

